

科目名		建築実習Ⅰ			
担当教員		目黒 敬也		実務授業の有無	○
対象学科		建築大工科	対象学年	2	開講時期 前期
必修・選択		必修	単位数	6	時間数 96
授業概要、目的、授業の進め方		建築大工の技術者として基本となる道具の知識・使用法、管理を学び、建築大工技能検定2級の課題を中心とした実習。 1.説 明→作業実習→添削と評価→修正を繰り返し行い、基礎技術を身に着ける。 2. 正確な手順を理解し練習する。また習得レベル差ごとの指導も適宜行う。 3.刃 物など、注意が必要な道具を扱う実習のため、安全管理に留意する。			
学習目標 (到達目標)		建築大工技能検定2級の取得を目指し技能を習得する。			
テキスト・教材・参考図書・その他資料		大工技術を学ぶ1、配布資料、大工道具			
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	刃物研ぎ 刃物を正しい姿勢、研ぎ方で研ぐ			①	方法：作業内容の説明、注意事項の説明。 達成目標：①の作業の習得
2	カンナの技術習得-1 カンナを使い、木材を削る練習をする			①	方法：作業内容の説明、注意事項の説明。 達成目標：①の作業の習得
3	カンナの技術習得-2 寸法を決めその寸法通りに削る			①	方法：作業内容の説明、注意事項の説明。 達成目標：①の作業の習得
4	カンナの技術習得-3 斜めに木材を削る			①	方法：作業内容の説明、注意事項の説明。 達成目標：①の作業の習得
5	建築大工技能検定2級の課題 部材ごとに 削り・墨付・加工・組立を行う			①各	方法：作業内容の説明、注意事項の説明。 達成目標：課題の完成
6					
7					
8					
9					
10					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
提出課題の評価	取組姿勢			前期中に大工技能検定2級の課題を作り、後期の実習や検定本番へのイメージを作る。確実に技術を習得できるように毎回の目標を設定し実習に取り組む。また、正しく道具を使えるようになることで、ケガをしないようにする。	
70 %	30 %	%	%		
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		建築大工として約5年実務に携わる			